

RSSを利用した視聴方法

2005-06-10

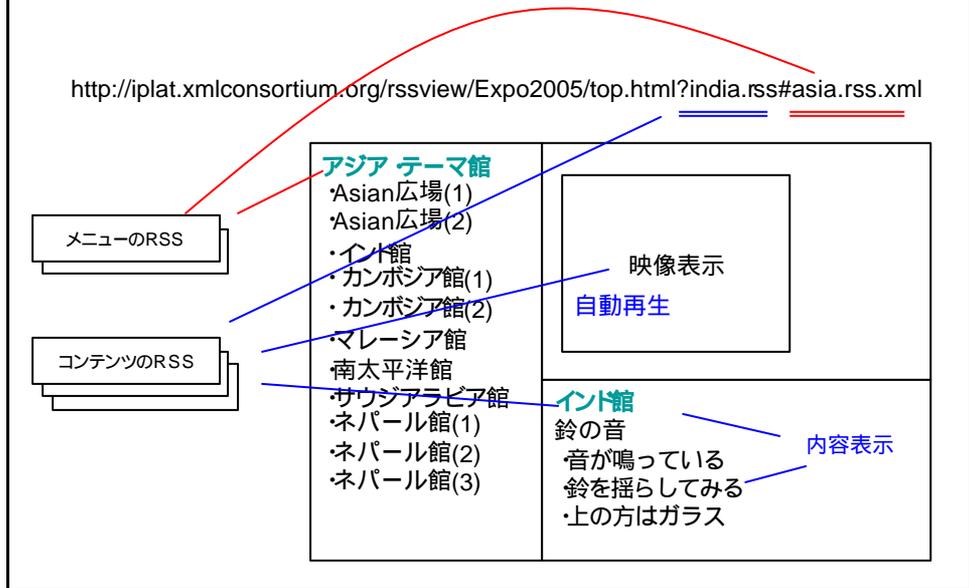
ジャストシステム 赤井靖雄

RSSを利用した視聴

- 株式会社フジミックの大坂哲司氏が2003年5月27日のXMLコンソーシアムWeekで発表したRSS視聴用のJavaScriptを利用した。
- 今回はそれをWebサーバ対応用に拡張し、メニューのRSSをURLで指定する機能や、URLで指定した動画を自動再生する機能などを追加した。

RSSを利用した視聴方法

<http://iplat.xmlconsortium.org/rssview/Expo2005/top.html?india.rss#asia.rss.xml>



RSSを利用した視聴方法

アーカイブ、コンテンツ内容を記述したXML言語 (RSS) を用いると、次のように視聴することができる。

ブラウザの画面左にメニューRSSに含まれているコンテンツリストが表示される。コンテンツRSSが指定された場合には、動画コンテンツが表示されると同時に再生が始まり、スタートからの再生時間が表示される。

見出しをクリックすると、その見出しが示すタイムコードまで飛んで、映像が再生される。

コンテンツリスト中からコンテンツを選ぶと、対応する映像が画面右上に、見出しが画面右下に表示される。

RSSの記述方法(コンテンツ)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<rdf:RDF xmlns="http://purl.org/rss/1.0/" xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-
syntaxns#">
  <channel>
    <title>懐メロおまけ情報</title>
    <link>VDB/omakeV-1.wmv</link>
    <description>お得な懐メロおまけがあります</description>
    <items>
      <rdf:Seq>
        <rdf:li rdf:resource="VDB/omakeV-1.wmv#mediatime(0)"/>
        <rdf:li rdf:resource="VDB/omakeV-1.wmv#mediatime(180)"/>
        <rdf:li rdf:resource="VDB/omakeV-1.wmv#mediatime(350)"/>
      </rdf:Seq>
    </items>
  </channel>
  <item rdf:about="VDB/omakeV-1.wmv#mediatime(0)">
    <title>懐メロ 1</title>
    <link>VDB/omakeV-1.wmv#mediatime(0)</link>
    <description>ひばりの歌 1</description>
  </item>
  <item rdf:about="VDB/omakeV-1.wmv#mediatime(180)">
    <title>懐メロ 2</title>
    <link>VDB/omakeV-1.wmv#mediatime(180)</link>
    <description>ひばりの歌 2</description>
  </item>
  <item rdf:about="VDB/omakeV-1.wmv#mediatime(350)">
    <title>懐メロ 3</title>
    <link>VDB/omakeV-1.wmv#mediatime(350)</link>
    <description>ひばりの歌 3</description>
  </item>
</rdf:RDF>
```

コンテンツRSSの記述方法

channelタグにコンテンツのタイトル、実
体、itemsタグに見出しポイントを記述。
itemタグに各見出しに対する表題、内容、
コンテンツ中での位置情報を記述。

RSSは、コンテンツを豊かに記述するため
他の概念を導入することができる。一般的
に用いられる概念は、次の3つのモジュ
ールがある。

Dublin Coreモジュールは標準的なメタ
データ記述要素を提供するモジュール。

Syndicationモジュールはニュースの記
事などを配信(配給)形態を示すモジュ
ール。

ContentモジュールはXHTMLによるマー
ク付けなどを含めたコンテンツをそのまま
配信するためのモジュール。

見出し参照

実体参照

RSSの記述方法(メニュー)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<rdf:RDF xmlns="http://purl.org/rss/1.0/" xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-
syntaxns#">
  <channel>
    <title>アジア・テマ館</title>
    <link>C:\svg\svg_sample\doc\mpmp</link>
    <description>愛知万博のアジア地方のテマ館</description>
    <items>
      <rdf:Seq>
        <rdf:li rdf:resource="asian1.rss"/>
        <rdf:li rdf:resource="asian2.rss"/>
        <rdf:li rdf:resource="india.rss"/>
      </rdf:Seq>
    </items>
  </channel>
  <item rdf:about="asian1.rss">
    <title>Asian広場(1)</title>
    <link>asian1.rss#mediatime(30)</link>
    <description>Asian広場を歩きながら撮影</description>
  </item>
  <item rdf:about="asian2.rss">
    <title>Asian広場(2)</title>
    <link>asian2.rss#mediatime(30)</link>
    <description>Asian広場でみつけたもの</description>
  </item>
  <item rdf:about="india.rss">
    <title>インド館</title>
    <link>india.rss#mediatime(30)</link>
    <description>鈴の音</description>
  </item>
</rdf:RDF>
```

メニューRSSの記述方法

channelタグにメニューのタイトル、実体
itemsタグに動画タイトルを記述。

itemタグに各動画に対する表題、内容、
コンテンツを表すRSSファイルを記述。

同RSSなので、コンテンツの内容を表す
RSSファイルと書式は同じ。このように
RSSメニューを階層的に使用することで、
複数のコンテンツをグループとして管理す
ることが可能になる。

見出し参照

実体参照

課題・問題点

スタンドアロンからWebサーバ対応への問題

最初はスタンドアロンを前提としていたため、動画を全部読み込んでから表示していた。

設計をそのままにしてWebサーバ利用版を作成した結果、動画をダウンロードする待ち時間が非常に長くなってしまった。(30秒程度のWMVファイルで数十秒。効率の悪いAVIファイルはその倍以上!)

大きな動画を扱うためには設計の見直しが必要(ストリーミング等)

他メディアへの対応

今回のRSS視聴では動画ファイルのみを視聴対象としていたが、ブラウザにオブジェクトとして埋め込める物であれば何でも表示できる設計になっているので、静止画像やHTML(Webサイト、Blog)もRSSを利用することで同レベルのコンテンツとして視聴することが可能になる。